

地球温暖化対策計画書

1 地球温暖化対策事業者等の概要

(1) 地球温暖化対策事業者等の氏名等

地球温暖化対策事業者等の氏名 (法人にあつては名称及び代表者又は 管理者の氏名)	オリンパス株式会社 久松 裕明 (技術開発センター石川事業場長)
地球温暖化対策事業者等の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在 地)	東京都八王子市石川町2951番地

(2) 事業所の概要

事業所の名称		技術開発センター石川				
事業所の所在地		東京都八王子市石川町2951番地				
業種等	事業の 業 種	分類番号	F31	F: 製造業	▼ 精密機械器具製造業 ▼	
		産業分類名	精密機械器具製造業			
	事業所 の種類	主たる用途	部門分類	<input type="radio"/> 産業 <input checked="" type="radio"/> 業務		
			<input type="radio"/> 工場 <input type="radio"/> 熱供給施設 <input type="radio"/> 上水道・下水道施設 <input type="radio"/> 廃棄物処理施設			
			<input checked="" type="radio"/> 事務所 <input type="radio"/> 商業施設 <input type="radio"/> 宿泊施設 <input type="radio"/> 教育施設			
<input type="radio"/> 医療施設 <input type="radio"/> 文化施設						
		その他	()			
		建物の使用形態	<input type="checkbox"/> テナントビル等に該当			
事業の概要		製品開発				
主なテナント事業者等の概要 (テナントビル等の場合に記載)		(1)	テナント事業者等の の 名 称			
		(2)	テナント事業者等の の 名 称			
		(3)	テナント事業者等の の 名 称			
敷地面積				48,875	m ²	
建物の延べ面積				50,063	m ²	

(3) 担当部署

計 画 の 担 当 部 署	連 絡 先	名称	八王子総務部設備環境 G		
		電 話 番 号	0 4 2 6 - 4 2 - 2 1 5 7 (ダイヤルイン)		
		ファクシミリ番号	0 4 2 6 - 4 6 - 2 4 2 9		
		電子メールアドレス	no_nakano@ot.olympus.co.jp		
公 表 の 担 当 部 署	連 絡 先	名称	八王子総務部設備環境 G		
		電 話 番 号	0 4 2 6 - 4 2 - 2 1 5 7 (ダイヤルイン)		
		ファクシミリ番号	0 4 2 6 - 4 6 - 2 4 2 9		
		電子メールアドレス	no_nakano@ot.olympus.co.jp		

(4) 地球温暖化対策計画書の公表方法

公表期間	平成18年1月1日 ~ 平成22年3月31日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス: http://www.olympus.co.jp/jp/corc/environment/data/factorylistj.cfm
	<input type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所:
		所在地:
		閲覧可能時間:
	<input type="checkbox"/> 冊子	冊子名:
	入手方法:	
	<input type="checkbox"/> その他	

2 計画期間

17	年度	~	21	年度
----	----	---	----	----

3 温室効果ガスの総基準排出量(工場・事業場の設備等に係るものと自動車等に係るものとの合計)

単位:t(二酸化炭素換算)

温室効果ガスの種類	CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
総基準排出量	5,907						5,907

4 地球温暖化の対策の推進に関する基本方針等

八王子事業場環境方針
 オリンパス環境理念に基づき、八王子事業場は、一人ひとりの行動が環境に影響を与えることを自覚し、「始めよう、人にやさしい、環境にやさしい、モノ創り」をスローガンに、オリンパスグループの源流事業場として新製品開発や生産技術の開発および関連するすべての環境管理活動を推進します。また、大都市化する八王子にあって、率先して自然を守り、環境と調和する企業を目指し、以下の方針を設定します。

1. 環境影響評価と法的側面を考慮して環境目的及び目標を設定し、実現のための計画化と実施展開を技術的・経済的に可能な範囲で行います。また、定期的な監査や見直しを行い、継続的に環境管理システムを改善します。
2. 環境関連の法規制及び業界等の行動規範、地域協定等を遵守するとともに自主規準を設定し、より一層の環境改善を図ります。
3. 事業活動及び製品・サービスが環境に与える影響を的確に把握し、汚染の予防と環境負荷の削減を実施します。
 - 3.1 機械・設備・空調などの合理的運用や改善によるCO₂排出削減
 - 3.2 資源の有効活用と廃棄物ゼロエミッションへの挑戦
 - 3.3 有害物質の代替物質への転換により排除
4. 環境方針達成のために、この方針を全ての従業員に周知・徹底するとともに取引先及び地域社会との協調連帯を図ります。

(計画期間の最終年度における温室効果ガスの総排出量の見込み) 単位:t(二酸化炭素換算)

温室効果ガスの総排出量の見込み	7,200
-----------------	-------

(見込みの考え方等)

製品開発業務については、今後人員の増加を含めて、事業場の規模拡大が予定されている中で、事業場内での省エネ活動(電力量把握による使用の効率化と合理化)と省エネ設備の導入により温室効果ガスの排出を抑制する

その3

5 地球温暖化の対策の推進体制

(1) 推進体制

オリンパス技術開発センター石川・宇津木合同組織

経営層（担当役員）

事業場長（環境管理責任者・地球温暖化対策統括マネジャー）

テクニカルアドバイザー
環境管理事務局

環境管理委員会（全事業場の本部・部署・関連会社を11の部門に分けて、部門責任者による委員会）

環境管理推進委員会（11部門の実務者による委員会。各部門2～5名）

各部門の推進委員会（本部・部・関連会社等毎に委員を選出し運営）

(2) 事業所における地球温暖化の対策の普及啓発・教育活動

- ・環境管理委員会（2回/年）、環境管理推進委員会（4回/年）による、エネルギー使用状況及び年度計画の進捗状況の報告により省エネ推進の啓蒙・教育を実施
- ・新入社員研修（入社時）、転入者・派遣社員研修（転入時・派遣時）による、事業場内の省エネのルール・実施項目の説明と実行の徹底を教育
- ・関連取引業者に対しては、守衛所によるアイドリングストップの依頼と事業場内プレートによる掲示の実施

その4

6 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の状況

(1) 基準排出量

ア 基準排出量の算定方法

● 過去3か年度(基準年度)の平均値	
○ 特定年度の値	()年度
○ その他	算定方法:()

イ 基準排出量

単位:t(二酸化炭素換算)

温室効果ガスの種類	CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
基準排出量	5,802						5,802

(2) 建物の延べ面積当たりの基準排出量の状況(業務部門に該当する場合のみ記載)

建物の延べ面積当たり基準排出量	115.8 kg/m ² ・年
-----------------	----------------------------

7 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標

(1) 目標年度

計画期間の最終年度	21 年度
-----------	-------

(2) 計画削減量(率)、目標削減量(率)等

分類	削減量	削減率
計画削減量及び計画削減率 (基本対策及び目標対策の実施によるもの)	156 t	2.6 %
うち目標削減量及び目標削減率 (目標対策の実施によるもの)	92 t	1.5 %
基準年度中に完了した削減対策のうち、目標対策に相当するものの実施による削減量及び削減率	140 t	2.4 %

その5

8 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 基本対策及び目標対策

対策 No	対策の区分		対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称も記載すること。)	対策レベル	削減効果の見込み		根拠資料	対策レベル の修正	備考
	区分 番号	区分名称			削減量 (t)	削減率 (%)			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	110403 月使用量、月負荷変動	電力計測システム導入による電力削減	目標対策	54	0.93%	添付書類 110403	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	130105 運転時間、ファン動力の軽減対策	空調運用時間の1時間短縮	基本対策(運用)	12	0.20%	添付書類 120303	<input type="checkbox"/>	平成17年度実施、平成18年度以降は未定
3	<input checked="" type="checkbox"/>	130302 換気運転の管理	省エネVベルトへ更新	基本対策	9	0.15%	添付書類 130302	<input type="checkbox"/>	
4	<input checked="" type="checkbox"/>	150201 照明器具及びランプの適正な選択	照明機器のインバーター化(段階的に実施)	目標対策	15	0.25%	添付書類 150201	<input type="checkbox"/>	Hf照明
5	<input checked="" type="checkbox"/>	150302 自動販売機のスケジュール管理	省エネ自動販売機の導入	目標対策	24	0.40%	添付書類 150302	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	120202 冷凍機の出口温度管理	冷凍機の出口温度管理	基本対策(運用)	7	0.12%	添付書類 120202	<input type="checkbox"/>	
7	<input checked="" type="checkbox"/>	130201 外気冷房(外気利用)	外気導入量の適正管理	基本対策(運用)	35	0.60%	添付書類 130201	<input type="checkbox"/>	
8	<input type="checkbox"/>						添付書類	<input type="checkbox"/>	
9	<input type="checkbox"/>						添付書類	<input type="checkbox"/>	
10	<input type="checkbox"/>						添付書類	<input type="checkbox"/>	
11	<input type="checkbox"/>						添付書類	<input type="checkbox"/>	
12	<input type="checkbox"/>						添付書類	<input type="checkbox"/>	
13	<input type="checkbox"/>						添付書類	<input type="checkbox"/>	
14	<input type="checkbox"/>						添付書類	<input type="checkbox"/>	
15	<input type="checkbox"/>						添付書類	<input type="checkbox"/>	
計画削減量(率)					156	2.6%	指針に掲げる「基本対策」を「目標対策」とした場合にチェックする。		
うち目標削減量(率)					92	1.6%			

その6

(2) 基準年度中に完了した目標対策に相当する対策

対策 No	対策の区分		対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称も記載すること。)	削減効果の実績		根拠資料	備考
	区分番号	区分名称		削減量 (t)	削減率 (%)		
1	<input checked="" type="checkbox"/>	130105 運転時間、ファン動力の軽減対策	個別空調機のバック改善 (BeNext 34 台導入)	14	0.23%	添付書類 130105	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	150201 照明器具及びランプの適正な選択	照明器具のインバータ化 (2号棟)	31	0.53%	添付書類 150201	H f 照明
3	<input checked="" type="checkbox"/>	150201 照明器具及びランプの適正な選択	誘導灯を高輝度型へ更新	37	0.64%	添付書類 150201	
4	<input checked="" type="checkbox"/>	150201 照明器具及びランプの適正な選択	照明の人感センサー化対応 (食堂・全事業場の階段・全事業場の更衣室)	14	0.23%	添付書類 150201	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	160202 窓の断熱性、機密性	遮熱窓フィルムの設置 (事業場の南・西側)	45	0.77%	添付書類 160202	
6	<input type="checkbox"/>					添付書類	
7	<input type="checkbox"/>					添付書類	
8	<input type="checkbox"/>					添付書類	
9	<input type="checkbox"/>					添付書類	
10	<input type="checkbox"/>					添付書類	
11	<input type="checkbox"/>					添付書類	
12	<input type="checkbox"/>					添付書類	
13	<input type="checkbox"/>					添付書類	
14	<input type="checkbox"/>					添付書類	
15	<input type="checkbox"/>					添付書類	
合計				140	2.4%		

(3) 再生可能エネルギーの導入に係る措置

ア 再生可能エネルギーの導入に係る考え方

--

イ 再生可能エネルギーの導入計画及び前年度末における導入実績
(事業所内で設備導入を行うものに限る。)

再生可能エネルギーの種類(発電)	単位	実績導入量	計画導入量	概要(導入時期、規模、方法等)
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

再生可能エネルギーの種類(熱利用)	単位	実績導入量	計画導入量	概要(導入時期、規模、方法等)
	GJ			
	GJ			
	GJ			
計	GJ			

9 事業所内で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係るその他の措置

(1) 事業所における再生可能エネルギーの環境価値の保有

種類	単位	実績導入量	計画導入量	概要(導入時期、規模、方法等)
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

(2) その他の取組

事項	取組概要		
テナント事業者等への還元のための措置			
廃棄物の削減	10月感染性のプラスチック廃棄物を滅菌後重油にリサイクル化実施。10月実験廃液の減量装置導入。食堂の厨芥物を焼却から肥料製造に変更。	削減予定量	220 t
グリーン調達	全社購買システムによるエコ製品の購入実施		
物流の効率化			
その他、社員の通勤における削減対策等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10 km以上遠方の駅からの通勤バスを廃止し、公共機関に変更した。 ・ 全社でチーム・マイナス6%に参加(クールビズ等) 		

その8

10 自動車等に係る温室効果ガスの排出の状況等

(1) 自動車等に係る温室効果ガスの基準排出量

ア 基準排出量の算定方法

<input checked="" type="radio"/> 過去3か年度(基準年度)の平均値 <input type="radio"/> 特定年度の値 <input type="radio"/> その他	()年度 算定方法:()
--	-------------------

イ 基準排出量

単位:t(二酸化炭素換算)

温室効果ガスの種類	CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
基準排出量	105						105

(2) 自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標及び措置

ア 目標年度

計画期間の最終年度	21 年度
-----------	-------

イ 自動車等に係る削減目標

ウ 自動車等に係る削減対策

対策 No	対策の区分		対策の名称	対策導入率等		削減効果の見込量(t)	備考
	区分番号	区分名称		現状	目標		
	<input type="checkbox"/>						
	<input type="checkbox"/>						
	<input type="checkbox"/>						
	<input type="checkbox"/>						
	<input type="checkbox"/>						
	<input type="checkbox"/>						
	<input type="checkbox"/>						

エ その他

11 事業所外で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

事項		取組概要		
都内で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策	インバータ照明器具の導入、インバータ形コンプレッサーへの代替、人感センサー照明器具の導入、電力計測システム導入による電力使用の有効活用、空調運用時間の1時間短縮	削減見込量	200 t-CO ₂
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策			
	植林、緑化等		導入予定量	m ²
	その他	全社でチーム・マイナス6%に参加		
都外で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策	レンズ生産設備の更新、生産拠点の集約化、電力使用一般設備の更新（生産設備、インバータ照明器具・コンプレッサーの導入、人感センサー照明器具の導入等）	削減見込量	1,617 t-CO ₂
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策			
	植林、緑化等		導入予定量	m ²
	その他	1617		
上記以外で、他の事業者、消費者等の温室効果ガスの排出の抑制に寄与する取組等				

12 事業所内で計画期間前に完了した温室効果ガスの排出の抑制に係る措置(8(2)以外のもの)

--

その10

13 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の計画状況に関する自己評価

(1) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の計画状況

ア 工場・事業場の設備等に係る削減対策

- 「基本対策」をすべて計画化
- 「目標対策」を計画化
- イ その他の削減対策
 - 「自動車等に係る削減対策」を計画化
 - 「事業所内で実施するその他の削減対策」を計画化
 - 「事業所外で実施する削減対策」を計画化

(2) 地球温暖化対策計画書の内容に関する説明

企業業績が赤字といった中で、「工場・事業場の設備等による対策」について、東京都が指針で掲げる「基本対策」はすべて検討し、実施可能な対策は全て計画化した。また「目標対策」についても計画化を実施した。併せて、5月～6月で事業場の全ての配電盤に電力モニターを設置し、実績把握を行い電力削減の取組みをスタートした。また、チーム・マイナス6%に参加するとともに空調時間の1時間削減、フレックスタイムの使用の厳格化（8：45出社の原則化）、クールビズの導入と冷房温度28度の再徹底、家庭での省エネの推進依頼等実施してきた。

上記により本事業場は温室効果ガスの排出の抑制について積極的に取り組んでいると自己評価する。